



明学自動車部だより 2025 年 5 月発行

明学自動車部 OBOG 会会員誌 Vol.7

Auto Club 発足記念号



明治学院大学体育会自動車部の伝統を引継ぐ「Auto Club」が 2025 年 2 月 1 日新たに発足しました。

現在は大学未公認団体ですが、2026 年 4 月の公認団体認定に向けクラブ員 12 名 (2025 年 4 月時点) で活動を開始しました。

発行者：事務局長 田久保浩貴 (74 年度生) 〒513-0809 三重県鈴鹿市西条 1-24-29
059-382-0077 090-5861-5374 mguacobog@gmail.com mguacobog.com

公認団体認定までのスケジュール

2025 年 2 月 1 日	「Auto Club (オートクラブ)」設立
2 月 2 日	慶應義塾体育会自動車部訪問
3 月 19 日	安全運転中央研修所 青少年運転者研修受講
3 月 20 日	全関東フィギュア選手権視察
3 月 23 日	アベレージラリー体験会参加
2025 年 4 月	設立準備団体申請書提出 1 年を通して健全な活動をおこなう。 中間活動報告 (10 月)
2026 年 3 月	
2026 年 4 月	公認団体認定願提出 (審査→公認団体認定) ・2 学年かつ 8 名以上の部員 ・専任教員の顧問 ・団体規約

2025 年 2 月 2 日「慶應義塾体育会自動車部」訪問

オートクラブ代表石田匠さん、副代表富岡柊太さん、田賀風翔さん、OBOG 会世話人の小林滋幸さんが慶應義塾体育会自動車部日吉練習場を訪問し、力石監督、吉田主将ほか幹部部員のとミーティングを行い、今後のオートクラブ活動へのアドバイスや関連する情報をいただくとともに慶應とのフィギュアやジムカーナの合同練習等を行っていくことを確認しました。



2025 年 3 月 19 日「青少年運転者課程 1 日コース」受講 自動車安全運転センター安全運転中央研修所 (茨城県ひたちなか市) にてオートクラブ代表石田匠さんと副代表富岡柊太さん、田賀風翔さんが、今後の安全なクラブ活動を推進するために安全運転の知識と技術を学びました。受講費用はOBOG会が支援しました。



2025 年 3 月 20 日「2025 年全関東学生フィギュア選手権大会」(神奈川県綾瀬市) 視察 オートクラブ代表石田匠さん、OBOG 会世話人、正田一明さん、小林滋幸さん、木村真さんが他大学自動車部や大会役員との交流および情報収集交換のために大会を視察しました。綾瀬市在住の 66 年度生鈴木豊さんも観戦に訪れました。

2025 年 3 月 23 日 オートクラブ員石田さん、富岡さん、下田さん、LAU TIN LONG さんがモータースポーツの入門であるアベレージラリーの体験会 (茨城県) に参加しました。OBOG のみなさまにはお馴染みの計算ラリーです。60 年代はタイガー計算機のハンドルを回して計算していました。その後円形計算尺を使用していました。現在はスマホのアプリが指示速度での経過時間ごとの到達距離を自動で計算して示してくれるようになっています。



2025 年度は茨城県と栃木県で行われるアベレージラリーに 3 回の参加を予定しています。4 月 20 日に行われた関東デイトラリーにはクラブ員石田 / LAU TIN / 杉本組、64 年度生小堤兵吾さんとクラブ員富岡組が参加し、石田組クラス 6 位、小堤組 11 位と完走をはたしました。

OBOG のみなさまで興味のある方はぜひ参加してください。
参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。



設立準備団体登録申請書抜粋																																											
団体名 Auto Club		(団体名カナ) オートクラブ																																									
		設立年2025 年																																									
指導者 (コーチ)		正田一明 (1974 年卒業 学籍番号 70J### 明学自動車部 OBOG 会副代表世話人)																																									
責任者 (代表)		石田 匠 (2 年生 学籍番号 24EE###)																																									
部員数		12 名 (1 年生 1 名、2 年生 10 名、4 年生 1 名)																																									
活動目的 当団体は、自動車に関する知識および技術の向上を図り、部員相互の親睦を深め、社会人としての人格の育成と健全な交通社会と自動車文化の発展に寄与することを目的とする。																																											
活動内容 ① 自動車の知識、技能向上をはかる運転講習会の受講 ② 学生にふさわしい自動車競技:全日本学生自動車連盟 (以下学連) 主催競技 および一般社団法人日本自動車連盟 (以下JAF) 公認競技 ③ e (エレクトロニック) スポーツ自動車競技 ④ 自動車整備と車両管理 ⑤ その他必要な活動		 e モータースポーツシミュレーター																																									
組織特長 ※活動内容と混同せず、類似する活動内容の団体・サークルとの違いも含めて記入すること 名前が類似するカーツーリストクラブはレンタカーで旅行を行うことが目的である団体であるのに対し、オートクラブは明治学院大学体育会自動車部の伝統を引き継ぎ、自動車競技 (モータースポーツ) に取り組むことを中心として、自動車文化やモビリティ (交通・移動にともなうモノ・コト全般) に触れる活動を行う団体である。																																											
準備期間 (2025 年5 月～2026 年3 月) の目標 ・幅広い明治学院大学学生を取り込み自動車文化やモビリティと共に成長し、旧体育会自動車部の伝統を引き継ぎながらも、新しい風を吹き込み新生Auto Club として精進する。 ・アベレージラリーやオートテスト等に参加して、初級の基礎的な競技経験を積むとともに、将来の軽自動車耐久レースに参加するため筑波サーキットを拠点にサーキットでの練習走行ができるようになる。 ・クラブ員全員が学連主催およびJAF 公認競技参加に必要な「JAF 国内競技運転者許可証B」を取得する。 ・将来の学連主催の自動車競技参加に備え、2025 年11月五大学 (慶應義塾大学・早稲田大学・立教大学・青山学院大学・慶應義塾高校) 対抗フィギュア競技大会および2026 年2月関東学生ジムカーナ新人戦大会 に参加する。																																											
予算計画		 ダイハツ・エッセ (軽自動車耐久レース仕様)																																									
<table><tr><th colspan="2">収入</th><th colspan="2">支出</th></tr><tr><th>項目</th><th>金額</th><th>項目</th><th>金額</th></tr><tr><td>前年度繰越金</td><td>46,733</td><td>ラリー、オートテスト等参加費</td><td>100,000</td></tr><tr><td>入部金</td><td>27,000</td><td>スポーツ安全保険掛金</td><td>22,200</td></tr><tr><td>部費</td><td>72,000</td><td>戸塚まつり出展費用</td><td>50,000</td></tr><tr><td>OBOG会支援金</td><td>250,000</td><td>Fuji 1 GP出展</td><td>60,000</td></tr><tr><td>スポーツ安全保険個人負担金</td><td>22,200</td><td>合宿費用</td><td>40,000</td></tr><tr><td>合宿個人負担金</td><td>40,000</td><td>軽自動車耐久レース活動費</td><td>300,000</td></tr><tr><td>軽自動車耐久レース活動個人負担金</td><td>200,000</td><td>次年度繰越金</td><td>85,733</td></tr><tr><td>合計</td><td>657,933</td><td>合計</td><td>657,933</td></tr></table>				収入		支出		項目	金額	項目	金額	前年度繰越金	46,733	ラリー、オートテスト等参加費	100,000	入部金	27,000	スポーツ安全保険掛金	22,200	部費	72,000	戸塚まつり出展費用	50,000	OBOG会支援金	250,000	Fuji 1 GP出展	60,000	スポーツ安全保険個人負担金	22,200	合宿費用	40,000	合宿個人負担金	40,000	軽自動車耐久レース活動費	300,000	軽自動車耐久レース活動個人負担金	200,000	次年度繰越金	85,733	合計	657,933	合計	657,933
収入		支出																																									
項目	金額	項目	金額																																								
前年度繰越金	46,733	ラリー、オートテスト等参加費	100,000																																								
入部金	27,000	スポーツ安全保険掛金	22,200																																								
部費	72,000	戸塚まつり出展費用	50,000																																								
OBOG会支援金	250,000	Fuji 1 GP出展	60,000																																								
スポーツ安全保険個人負担金	22,200	合宿費用	40,000																																								
合宿個人負担金	40,000	軽自動車耐久レース活動費	300,000																																								
軽自動車耐久レース活動個人負担金	200,000	次年度繰越金	85,733																																								
合計	657,933	合計	657,933																																								

令和7年度通常総会・懇親会ご案内

ご挨拶

この4月23日にオートクラブ設立準備団体の申請を行い、復部への道筋が見えてきました。順調に行けば来年の4月には公認団体願いを経て正式にオートクラブが認可されることになります。まさかの廃部から5年。ここまで来られたことに、復部を目指した大学2年生の石田匠さんにはOBOG会を代表して心から敬意を表します。

一方で課題はこれからにあります。皆様もご承知の通り、クラブの活動には多額の資金が必要になります。特に近年のモータースポーツにおいては安全第一の観点から安全対策に要する費用は多額となります。そこで今回の定期総会では、オートクラブ公認団体認定後の活動を想定した規約改正を行って、OBOG会としてオートクラブへの支援を明確に打ち出すことを表明いたします。

皆様も現役の頃を思い出して見てください。何か大きな事案が発生した時、必ずと言っていいほど OBOG の方々が支援して下さいました。それによって自動車部の伝統が守られて 68 年の歴史が続いたのです。

そして今、皆様が待ち望んでいた自動車部の復活が現実になろうとしています。であればこそ、今が形を変えた恩返しをするときではないでしょうか。

どうか、皆様方の温かいご支援を伏してお願い申し上げる次第です。

代表世話人 谷崎洋一郎

開催日：2025 年 6 月 21 日（土） 12:00 ～ 15:00

開催場所：「お魚総本家 新宿西口店」

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-1-1

新宿パレットビル 8階

電話 03-5321-3961

懇親会参加費：5,000 円

通常総会・懇親会への出欠のご回答は
2025年6月14日（土）までに必着で
郵送したご案内に同封の出欠確認ハガキにて
ご返送ください。



通常総会議案（詳細はウェブサイト mquacoboq.com でご確認ください。）

第1号議案「令和6年度 行事等報告」

第2号議案「令和6年度 会計報告」

第3号議案「令和7年度 行事等計画(案)」

第4号議案「令和7年度 予算計画(案)」

第5号議案「会則改正に関する件」

入会金・年会費・賛助金払込のお願い

・今年度は Auto Club が発足したことをふまえ、会則第 12 条の 2（年会費は必要が生じた場合は世話人会で協議、了承のもと徴収できるものとする）により 5,000 円を徴収いたしますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

・入会金を未だお支払いいただいていない方は、
同封のゆうちょ払込取扱票に入会金 3,000 円と年会費
5,000 円の合計 8,000 円と賛助金にご協力いただける場合
は任意の金額を上乗せして金額をご記入ください。

・すでに入会金をお支払いいただいている方は、
年会費 5,000 円と賛助金にご協力いただける場合は任意
の金額を上乗せして金額をご記入ください。

*封筒の宛先氏名の右下に管理番号を記載してあります。

(例) 田久保浩貴様

170-74-2 の末尾2は入会済
末尾1は未入会の方です。

(行き違いで入会金をお支払いいただいている場合はご容赦ください。)

02		002907		107185		002907		107185	
002907		107185		002907		107185		002907	
002907		107185		002907		107185		002907	
002907		107185		002907		107185		002907	
002907		107185		002907		107185		002907	
002907		107185		002907		107185		002907	
002907		107185		002907		107185		002907	
002907		107185		002907		107185		002907	
002907		107185		002907		107185			

あの人に会いたい

—— 羽田さん御夫妻は今 —— “弥次” こと 正田一明（70 年度生）

御無沙汰しております。“弥次、喜多” でございます。

九州、長崎・佐世保編以来の 2 度目の登場となりました。今回は“喜多さん” が都合により旅に出られないということで、大ご隠居（64 年度生 小堤兵吾さん）に代わりに同行していただきました。



今回の旅の目的地は山梨県の山中湖。そう、あの湖北寮の羽田さんご夫妻にお会いしに行ってきました。羽田さんご夫妻 —— なんだかとってもよそよそしいので、失礼ながら「親（ちか）さん」、「お姉さん」と呼ばせてください。—— は親さんが御年 89 歳、お姉さんが??（内緒ですが 83 歳）になられたそうですが、お二人とも非常にお元気でいらっしゃいました。ご本人たちは「年のせいで頭の方がちょっと ——。」と謙遜されていましたが、決してそのようなことはなく、22 年ぶりにお会いした弥次の事も覚えていてくださいました。感激です。（弥次は 2003 年に行われた湖北寮 50 周年記念祭に参加、その時に親さん一家とお会いしています。）

余談ながら、お二人とも介護認定はなし。要支援にもなってないそうです。

お姉さんは此のところ健康麻雀にはまっており、頭の体操を兼ねて週 3 回ほど地域の健康麻雀の会に参加しているそうです。大ご隠居と趣味が一致したこともあり、お二人は麻雀の話で大いに盛り上がっておりました。（親さんと弥次は 蚊帳の外）

親さんは、何年か前に軽トラから落ちたそうで、大きな怪我をなさったとのこと。今はもうすっかり回復しているとのことですが、お姉さんが心配すること頻りでした。そんなお姉さんの心配にもお構いなく、親さんは免許の返納をすることもなく家の周りを運転しているそうです。（富士吉田ぐらいまでは行くそうです。）

そんな親さんですが、最近時間を持て余しており「畑でも作ろうかな」と考えているとのこと。でもシカやイノシシ、さらにはカラス、果てにはクマ迄出没、畑を荒らすやら作物を収穫前にみな食べられてしまうなど、畑つくりの前に防護柵作りをしなければならないのが面倒くさいとおっしゃってました。



「湖北寮」は、今はもうなくなってしまいましたが、多くの OB.OG の方々にとって思い出のたくさん詰まった場所ではないでしょうか。春と夏の定期合宿から全関・全日の試合前合宿等々、長い時間寝食を共にした場所です。現状、湖北寮の建物自体は残っておりますが、親さん夫婦は近くの本家に住んでおり、全く使用されていないとのことでした。でも、親さんは建物内に風を通す等この建物の手入れを行っており、中はとてもきれいな状態を保っていました。今回はその思い出のいっぱい詰まった建物、その中の元の食堂

のあった場所でお話を聞くことができました。本当にありがとうございました。

親さん、お姉さん、どうぞいつまでもお元気でいてください。

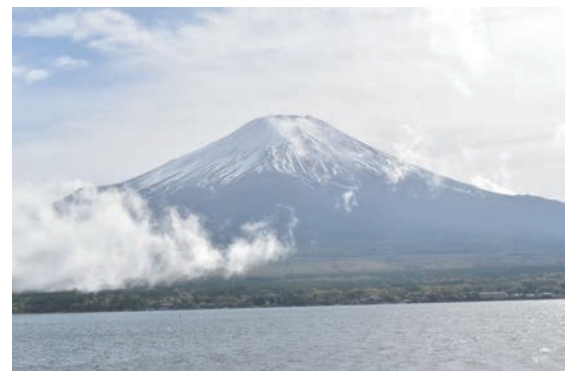


現在の湖北寮玄関



雅子さんと親蔵さん

お二人とお話を終えて外に出たとき、来た時には雲に覆われて全くその姿が見えなかった富士山が、うっすらと雪をかぶったその雄大な姿を、夕陽に照らされながら見せてくれました。そして、心の中も晴れ晴れした気持ちで帰路につきました。



明学自動車部 OBOG 会サイト mguacobog.com にて「羽田親蔵さん・雅子さんご夫妻」にお話を伺った動画を掲載してありますので、ぜひご覧ください。
「自動車部だより」は Vol.6 までは大ご隠居小堤兵吾さんに編集・発行・配布をお願いしておりました。あらためてお手を煩わせましたことに感謝申し上げます。
だよりはサイトでの掲載を予定していましたが、今後は今回のような紙媒体でも並行してお届けする予定です。